

# HOPES

ホープス セカンド

2nd

「地域おこし」協力隊の日  
線で見た村のいい所を、多くの人に伝えたい」。大槻さんはふんわりとした笑顔で語ります。この夏、旧草野小学校で開かれるユニークな企画展の担当となり、準備に励む毎日。「村のよみ」が伝わる展示を加えたいと、さまざまな人やスポットを取材しています。「村の皆さんはあつたかくて、元気。いつもややく迎えてくれるんです」。

旧草野小学校での展示は8月15日から30日（会期中は無休）。開館時間など詳細は同封のチラシで確認を。P.22にも大槻さんの記事があります。



「」の場所で新しい物語をつむぎたい

大槻 美友さん（草野）



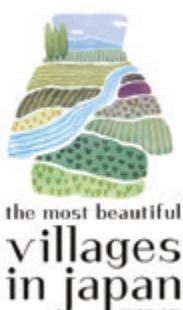
飯館村地域おこし協力隊。大学でプロダクトデザインを学び、企業での勤務を経てキャンドル作家に。「工房マートル」として活動しています。創作拠点を村に移しつつ協力隊としても活動中。  
✉ me04you02@gmail.com

植物をモチーフに大槻さんが制作したボタニカルキャンドル。左端の写真は、村内で開いたワークショップ時に準備した素材。乾燥させた多様な植物でキャンドルを彩ります。

植物をモチーフに大槻さんが制作したボタニカルキャンドル。左端の写真は、村内で開いたワークショップ時に準備した素材。乾燥させた多様な植物でキャンドルを彩ります。「飯館の自然の中に身を置き、「」でしかつくれない物語性のある作品をつくってみたい。花の」提供をいただけの方があれば、喜んで飛んでいきます」。小さい頃から直感的なものづくりが好きだったと言つ大槻さんは。新しい工房は、創造の楽しみを共有する場所ともなりそうです。「キャンドルの表現には多くの可能性があり、まだまだ学ぶ」とがたれられるんですね」。

●パンコーンの画面越しに村の課題

と未来を語り合つオンラインワークショップにおじゃましました。遠く離れた場所から村を思い続ける人、早くに村へ戻り友を待つ人、牛の仕事を未来につなぐ人、一人ひとりの声が、ぎゅっと胸にしました。新たに村と関わる皆さん



飯館村は「日本でも美しい村」連合に加盟しています。

だがいで、ありがとうございます」。

大槻さんは、飯館地区の家屋を借りて、キャンドル制作の工房を構えることにしました。

これまで福島の草花を用いて故郷の魅力を発信してきた一方で、目にした風景や感じた」と、すぐですが表現の元になつてみると「」です。

「飯館の自然の中に身を置き、「」でしかつくれない物語性のある作品をつくってみたい。花の」提供をいただけの方があれば、喜んで飛んでいきます」。小さい頃から直感的なものづくりが好きだったと言つ大槻さんは。新しい工房は、創造の楽しみを共有する場所ともなりそうです。「キャンドルの表現には多くの可能性があり、まだまだ学ぶ」とがたれられるんですね」。

●花火大会、夏祭りなどが中止になつている今年の夏。頭では分かっていても、やはり寂しいもの。我が家では子どもたちの為に、家庭内で夏祭りを計画中。

医療従事者をはじめ、生活を支えてくれている皆さんに最大限の感謝をしつつ、工夫してたつた一度の夏を楽しんで行きたいものです。(木幡)

●パンコーンの画面越しに村の課題

<

花火大会、夏祭りなどが中止になつている今年の夏。頭では分かっていても、やはり寂しいもの。我が家では子どもたちの為に、家庭内で夏祭りを計画中。

医療従事者をはじめ、生活を支えてくれている皆さんに最大限の感謝をしつつ、工夫してたつた一度の夏を楽しんで行きたいものです。(木幡)

>

編集後記

>

Jo